

知事のベトナム・台湾訪問結果について②

12月17日（水）

- 知事及び訪問団の一部は、令和3(2021)年度に「経済交流に関する覚書」を締結したフート省（旧ビンフック省）を訪れ、チュオン・クオック・フィ省共産党書記と会談しました。その後、チャン・ズイ・ドン人民委員長をはじめとする同省幹部との意見交換会が開催され、相互の投資促進や教育や文化について率直な意見交換を行いました。
- その後、フート省との覚書を再締結し、地方再編後も経済面等における交流をより一層促進することを確認しました。
- フート省が主催する歓迎昼食会に招待され、同省要人と訪問団一行との交流が更に深まりました。
- 令和4(2022)年度のトップセールスで「工業団地優遇措置に関する協定」を結んだ第三タンロン工業団地の投資環境を視察しました。
- 誘致班は、現地企業を訪問し、ベトナム国内の情報通信業及び製造業の動向や今後の本県への進出可能性等についての情報収集及び意見交換を行うとともに、本県の企業立地環境の優位性をPRしました。
- 観光班は、ハノイ市内のホテルにて、現地旅行会社を対象とした観光情報セミナーを開催しました。本県の魅力を直接PRすることにより認知の拡大を図るとともに、本県への送客に向けた旅行商品の造成を依頼しました。その後、JNTOハノイ事務所を訪問し、ベトナム訪日旅行市場の動向等について意見交換を行いました。
- 農政班は、農業関連団体とともに、観光情報セミナーにおいて、県産農産物や農村の魅力をPRしました。
- 日本酒班は、台北（台湾）にて、同行した県内酒蔵とともに、現地バイヤー等を対象とした日本酒試飲商談会を開催し、県産日本酒等の販路拡大及び現地取引先との関係強化を図りました。

1 フート省投資促進セミナー、MOU調印式【知事・議会班】

(1) 日 時 12月17日（水）9:45～11:45

(2) 場 所 フート省人民委員会事務局

(3) 相手側（計12名）

チュオン・クオック・フィ省共産党書記

チャン・ズイ・ドン省共産党副書記兼人民委員会委員長 他

(4) 県 側（計22名）

・福田知事、池田議長、山田議員、中島議員、鱒渕産業労働観光部長、廣瀬国際経済課長 他

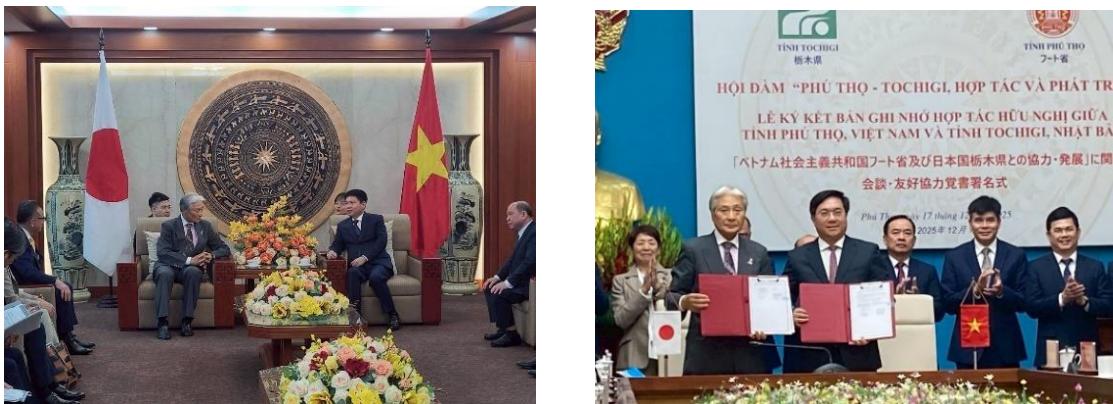
・ジェトロ栃木貿易情報センター、民間事業者 他

(5) 内容

令和3(2021)年度に「経済交流に関する覚書」を締結したフート省（旧ビンフック省）を訪問し、チュオン・クオック・フィ書記と会談を行い、両県省との協力関係の継続を確認しました。また、チャン・ズイ・ドン人民委員長をはじめとする同省幹部との意見交換会が開催され、投資や人材等について率直な意見交換がなされました。

意見交換後、MOU調印式が開かれ、フート省との「経済交流に関する覚書」を改めて締結することができました。

その後、フート省から歓迎昼食会に招待され、同省要人との交流を深めました。



2 フート省内視察【知事・議会班】

- (1) 日 時 12月17日（水）13:35～15:30
- (2) 場 所 第三タンロン工業団地
- (3) 先 方 (約10名)

フート省政府関係者、住友商事関係者 他

- (4) 県 側 (計22名)
 - ・福田知事、池田議長、山田議員、中島議員、鰐渕産業労働観光部長、廣瀬国際経済課長 他
 - ・ジェトロ栃木貿易情報センター、民間事業者 他

(5) 内容

知事及び訪問団一行は、令和4(2022)年度のトップセールスにて、住友商事株式会社・タンロン工業団地・ビンフック省（当時）・本県の4者で「海外工業団地優遇措置等に関する協定」を締結したフート省内に位置する日系の第三タンロン工業団地を訪問しました。

住友商事から工業団地の現在の状況や今後の計画等の説明を受けるとともに、同工業団地内を視察し、工場等の設置状況や災害対応も含めた優れた投資環境を確認しました。



3 現地企業訪問【誘致班】

(1) 日 時 12月17日(水) ①10:00~11:00、②13:00~14:00

(2) 訪問先

①Viettel Solutions

②Binh Minh TMC

対応者 ①Global Business Director レー・ミン・ハ氏 他

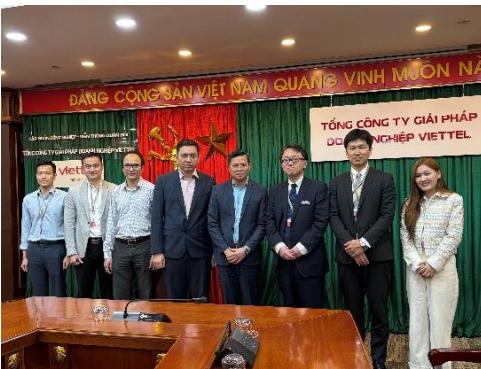
②President グエン・ヴァン・トゥアン氏 他

(3) 県 側 (計3名)

監物産業政策課企業立地班長 他

(4) 内 容

誘致班は、ベトナム大手情報通信業、Viettel グループの子会社である Viettel Solutions 及び金属部品や金型等の精密機械加工業の Binh Minh TMC を訪問しました。先方からの事業紹介の後、栃木県の紹介や県内の企業立地環境の優位性について PR するとともに、先方の海外展開の方針及び本県への進出可能性等について意見交換を行いました。



4 観光情報セミナー【観光班・農政班】

(1) 日 時 12月17日(水) 10:30~13:00

(2) 場 所 ホテルデュパルクハノイ 2階 Marron A&B

(3) 参加者 (計38名)

訪日旅行商品を造成している現地旅行社 21社

(4) 県 側 (計10名)

・倉金観光交流課長、観光交流課職員、経済流通課職員

- ・公益社団法人栃木県観光物産協会、観光事業者、一般社団法人とちぎ農産物マーケティング協会

(5) 内容

観光班は、ベトナムから本県への送客に向けた旅行商品造成を促進するため、ハノイ市内のホテルにおいて、現地で訪日旅行商品を造成する旅行会社を対象とした観光情報セミナーを開催しました。

セミナーでは、県職員から栃木県の持つ強みを伝えるとともに、同行した観光事業者が各施設の魅力を直接PRしました。

参加した現地旅行会社からは、「焼き物に興味のある人が多いので、益子焼きの体験は魅力的」「より詳しいモデルルートを知りたい」といった声が聞かれました。

農政班は、県産梨「にっこり」の試食や、いちご狩りについての情報提供により本県農村の魅力をPRしました。参加者はにっこりの大きさや食感に興味を示していました。



5 日本政府觀光局（J N T O）訪問【觀光班】

- (1) 日 時 12月17日(水) 14:30~15:30

(2) 場 所 J N T O ハノイ事務所

(3) 参加者 (計2名)
廣庭次長、ファム・フーク・ホン氏

(4) 県 側 (計7名)

 - ・倉金観光交流課長、観光交流課職員
 - ・公益社団法人栃木県観光物産協会
 - ・観光事業者

(5) 内 容

(5) 内容

観光班は、訪日インバウンドの拡大を通じて、地域の活性化等を目指す機関である日本政府観光局（J N T O 正式名称：独立行政法人国際観光振興機構）ハノイ事務所を訪問し、最近のベトナム訪日旅行市場の動向等について意見交換を行いました。

廣庭次長からは、「今後も旅行会社と協力し、栃木県への送客に努めたい」とのコメントがありました。



6 日本酒等試飲商談会（台北）【日本酒班】

(1) 日 時 12月17日（水）

第1部：13:30～15:00 第2部：15:00～16:30（内容同一）

(2) 場 所 アロフト台北中山（中山雅樂軒酒店）17階 WXYZ Bar

(3) 商談会参加企業数（37社）

現地バイヤー（インポーター、小売店、レストラン関係者）等

(4) 県 側（計9名）

- ・工業振興課職員
- ・県内酒蔵 6社

(5) 内 容

栃木県酒造組合と連携し、計6社の県内酒蔵が渡航参加の上、現地バイヤー向け試飲商談会を開催しました。各酒蔵は現地市場での普及に向けて各種銘柄を用意し、取引に繋がるよう酒蔵自ら特徴等を説明しました。

参加者からは、「今回試飲できた酒に入れ替えたい。（レストラン経営者）」、「取扱いの銘柄への追加を検討したい。（現地バイヤー）」などの声が聞かれました。

